

2015年11月20日

関係各位

野村アグリプランニング & アドバイザリー株式会社

平成27年度6次産業化優良事例表彰の選定結果について

野村アグリプランニング & アドバイザリー株式会社(取締役社長:西澤隆、以下「当社」)は、2015年11月25日開催の「第3回6次産業化推進シンポジウム」において表彰される平成27年度6次産業化優良事例を下記のとおり選定しましたので、お知らせします。

- <農林水産大臣賞> 株式会社瀬戸内ジャムズガーデン(山口県)
- <食料産業局長賞> 帯広市川西農業協同組合(北海道)
- 株式会社アーク(岩手県)
- 株式会社椿(東京都)
- 株式会社六星(石川県)
- 沖縄県車海老漁業協同組合(沖縄県)

「第3回6次産業化推進シンポジウム」は、農林水産省の平成27年度補助事業「6次産業化ネットワーク活動全国推進事業」の一環として当社が主催するものです。本シンポジウムでは、異業種や地域とのネットワークを積極的に構築し、新たな視点で6次産業化に取り組んでいる全国各地の優良事例を表彰し、受賞者による先進的な取り組み内容を紹介するとともに、パネルディスカッションを通じて、農林漁業の未来創造戦略を考えることを目的としています。

当社は今後も、農林漁業の成長産業化の推進や地域活性化に積極的に貢献していきます。

※ 第3回6次産業化推進シンポジウム概要:

<http://www.nomuraholdings.com/jp/company/group/napa/data/20151106.pdf>

以上

【ご参考】平成27年度6次産業化優良事例表彰の審査結果について

1. 6次産業化優良事例表彰の概要

異業種や地域とのネットワークを積極的に構築し、新たな視点で6次産業化に取り組んでいる全国各地の優良事例を公募し、審査委員会による審査を経て、6次産業化の成果や今後の成長性について選考の上、表彰します。

6次産業化優良事例表彰は平成25年度から実施しており、今回で3回目となります。農林水産省の補助事業である「6次産業化ネットワーク活動全国推進事業」の一環として、野村アグリプランニング&アドバイザー株式会社が実施しています。

2. 選定の経緯

(ア) 公募期間:2015年6月8日～7月6日

全国から公募を行い、48事例の応募がありました。

(イ) 第1回審査委員会:2015年7月24日

48事例の応募の中から、第1回審査委員会において、現地調査の対象とする30事例を選定しました。

(ウ) 第2回審査委員会:2015年9月30日

事務局の現地調査レポートに基づき、第2回審査委員会において、表彰候補となる6事例を選定しました。

(エ) 第3回審査委員会:2015年10月28日

第2回審査委員会で選定された6事業者によるプレゼンテーションを実施し、農林水産大臣賞に相応しい1事例を選定しました。

【平成27年度6次産業化優良事例表彰 審査委員名簿(敬称略)】

氏名	所属・役職
植草 茂樹 (第3回から:由井 照人)	農林漁業成長産業化支援機構 投融資本部 統括部長
木内 博一	農事組合法人和郷園 代表理事
楠見 清	公益財団法人兵庫県勤労福祉協会 理事長
柴田 香織	株式会社三越伊勢丹研究所 食品担当 ディレクター
久塚 智明	株式会社FBTプランニング 代表取締役
本間 正義(審査委員長)	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
西澤 隆	野村アグリプランニング&アドバイザー株式会社 取締役社長

3. 応募条件

応募者は、地域内もしくは地域の枠を超えて連携・ネットワークを構築して6次産業化の取組・活動を行っている団体(企業、法人、任意団体等)または個人であって、次に掲げる6次産業化に係る活動・取組のうちいずれかーに該当する活動を行っている者とします。

(ア) 農林漁業者同士が連携した取組

(イ) 農林漁業者が主導し、2次・3次事業者と連携した取組

(ウ) 2次・3次事業者が主導し、地域の農林漁業者を巻き込んだ取組

(エ) 市町村・地域が主導して、地域ぐるみで多様な者が連携した取組

(オ) その他(ア)～(エ)に準ずる取組

※農林漁業者は農協、漁協、農業法人、集落営農等を含みます。

4. 審査基準

項目	審査の視点
経営規模	<ul style="list-style-type: none">● 6次産業化部門の売上が一定程度あるか
収益性	<ul style="list-style-type: none">● 1次産品の収穫から販売までの6次産業化に付加価値が備わっているか
成長性	<ul style="list-style-type: none">● 過去からの推移において6次産業化部門の売上が伸びているか● マーケットにおいてシェアを拡大しているか
バリューチェーン	<ul style="list-style-type: none">● 農林漁業者、2次事業者、3次事業者と連携をしたビジネスモデルを構築しているか● 消費者へバリュー提案(商品価値の提示)を行い、市場性を確認しているか、また、バリュー提案に基づく商品提供を安定的に実施できる体制が整っているか
イノベーション	<ul style="list-style-type: none">● 他の事業者に先駆けたビジネスモデルを構築しているか● 市場性がある商品を作るため、今までにないパートナーと結びつくなど、新結合を生み出しているか● 生産・加工・流通・販売の各段階で付加価値向上のためにどのような工夫をしているか
地域貢献・社会貢献	<ul style="list-style-type: none">● 6次産業化の取組みによって地域への波及効果が生まれているか● 6次産業化に取組むことによって雇用を生み出しているか● 地域の活性化に貢献しているか
今後の発展性	<ul style="list-style-type: none">● 現在のビジネスモデルにおいてさらなる発展が見込めそうか● 新たな取組みによってさらに事業拡大が見込めそうか